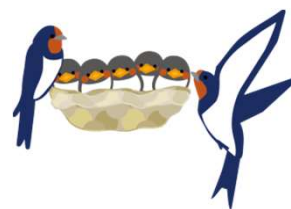




講習会



主催：（一社）熊本県測量設計コンサルタント協会
共催：（株）神島組

令和7年5月14日(水)協会会員様に向けた講習会を開催していただきました。
「低公害でスピーディーな割岩工法の開発、取り組み及び最新技術について」
ご説明させていただきました。
たくさんの方にご参加いただき心より感謝申し上げます。

【講習の様子】



**低公害でスピーディーな
割岩工法について**

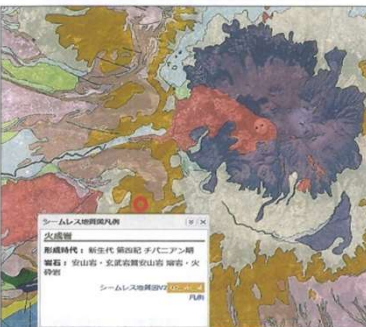
1. 開発技術のご紹介

国土交通省NETIS登録
特許取得

22件
69件

株式会社 神島組

阿蘇山周辺の地質について



熊本地方の地質は、中〜古生代の三葉虫化石層や中生代白亜紀の阿蘇層・阿蘇岩層を基盤とし、第四紀更新世以降の火山岩類が広く分布する。白亜紀の阿蘇層・阿蘇岩層は布田川断層南方から緑川断層にかけて分布する。阿蘇層・阿蘇岩層は、阿蘇山脈の南麓に属する中生代ジュラ紀付加体から形成されている。火山岩類は下位より、先阿蘇火山岩類、阿蘇大形岩類、阿蘇火山岩類（阿蘇山脈・阿蘇山脈）に区分される4）。先阿蘇火山岩類は、新第三紀末〜第四紀初頭の火山噴出物でカルデラ型火山阿蘇山脈・阿蘇山脈からなる。阿蘇大形岩類は、第四紀更新世中期から後期の4回の大型火山活動で噴出した。阿蘇火山岩類は、阿蘇山脈を主体とし、阿蘇山の南麓から外輪山にかけて広く分布する。阿蘇火山岩類は、阿蘇カルデラを形成した火山活動と、4つのステージに区分される。古いものから順にAso-1、Aso-2、Aso-3、Aso-4と呼ばれている。阿蘇火山岩類は、Aso-4の噴出後にカルデラ内に中央火口丘群を形成したものである。また、阿蘇山脈や阿蘇山脈などから構成される。これらの火山岩類の上に段丘堆積物、扇状地堆積物および沖積層が分布する。阿蘇山の特性と関連して、新第三紀末〜第四紀初頭に、4.79〜3.02km/cm2の幅を持ち平均値は3.82±0.25km/cm2を示し、中生代より第四紀の堆積物層にはほぼ相当する。

※ 地質図naviより(<https://gbank.gsj.jp/geonavi/>)

カーターセキ

